

令和6年度
総合型選抜

学生募集要項



高知工科大学

KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

目次

●アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー	01
●総合型選抜の評価・選抜の観点	06
●令和6年度 総合型選抜の募集人員、日程	07
●システム工学群総合型選抜の概要	08
●理工学群総合型選抜の概要	09
●情報学群総合型選抜の概要	10
●経済・マネジメント学群総合型選抜の概要	12
●データ&イノベーション学群総合型選抜の概要	16
●特待生制度について	17
●出願手続等	19
●受験上の注意	21
●合格発表	22
●入学手続	23
●入学前教育	24
●授業料／学生生活について	25
●入試個人成績の開示	28
●個人情報保護について	29
●試験会場略図	30

問い合わせ先

高知県公立大学法人 高知工科大学 入試課

〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185
TEL : 0887-57-2222

アドミッション・ポリシー ～入学者受入れの方針～

高知工科大学は「大学のあるべき姿を常に追求し、世界一流の大学を目指す」ことを目標として掲げています。この目標に賛同し、来るべき社会に活躍できる人材になるという強い意志と情熱を持ち、勉学意欲のある人を求めます。

高知工科大学には、システム工学群、理工学群、情報学群、経済・マネジメント学群、データ&イノベーション学群の5学群があります。各学群の教育の理念・目標を理解するとともに、それぞれの分野への高い関心と志望動機・目的意識を持ち、本学で学ぶための基礎学力を有していると認められる人の入学を希望しています。

■システム工学群

高知工科大学（学士課程全体）のアドミッション・ポリシーのもとに、システム工学群では、ものづくり一般に広く興味を持ち、それらを応用し、新しいシステム構築を切り開く意欲に溢れ、次のような資質を持つ人を求めます。

- ①論理的思考および柔軟な発想力
- ②基礎学力（数学・理科）
- ③協調性およびコミュニケーション能力
- ④国際コミュニケーション能力（英語）を高める意欲

さらに、大学院へ進学することで、ものづくり分野や新しいシステム構築をけん引するようなハイレベルなエンジニアを目指すことを推奨します。

本学群の入学試験について、上記の4つの資質を持ちあわせた人材を選抜するために、以下の入試を実施します。

4つの資質を持ちあわせながら、特に①と②に秀でた人を選抜するために「一般選抜」を実施します。一般選抜では、主に大学入学共通テストと理科・数学の個別学力試験の結果をもとに評価し、選抜します。

4つの資質が総合的に優れた人を選抜するために「学校推薦（一般区分）」、「総合型選抜」を実施します。学校推薦（一般区分）では、面接試験にて③、④を、口頭試問にて①、②を評価します。面接試験と口頭試問の結果に、提出書類の評価を加え、総合的に選抜します。総合型選抜では、面接試験にて③、④を、学群適性検査にて①、②を評価します。適性検査と面接試験の結果に、提出書類の評価を加え、総合的に人物を評価し、選抜を行います。

さらに、多様な人材を選抜するために「学校推薦（特待生区分）」、「社会人特別選抜入試」を実施します。

■理工学群

高知工科大学（学士課程全体）のアドミッション・ポリシーのもとに、理工学群では、自然科学について興味があり、探究心に溢れ、次のような資質を持つ人を求めます。

- ①自然科学全般を学ぶための十分な基礎学力
- ②学んだことを社会で活かすためのコミュニケーション力と語学力
- ③持続可能な社会の構築に尽力したいという意欲
- ④身に付けた広い分野の知識を融合させて社会に貢献したいという情熱

さらに、大学院へ進学することで、製品開発・商品開発や持続可能な社会の構築をけん引するような、先端的な科学技術に精通した人材を目指すことを推奨します。

本学群の入学試験について、上記の4つの求める資質を評価・選抜するために、以下の入試を実施します。

4つの資質を持ちあわせながら、特に①と②に秀でた人を選抜するために「一般選抜」を実施します。一般選抜では、主に、大学入学共通テストと理科・数学の個別学力試験の結果をもとに評価し、選抜します。

4つの資質を総合的に評価するために「学校推薦（一般区分）」、「総合型選抜」を実施します。学校推薦（一般区分）では、口頭試問にて①、②を、面接試験にて③、④を評価します。面接試験と口頭試問の結果に、提出書類の評価を加え、総合的に人物を評価し、選抜を行います。総合型選抜では、面接試験と提出書類にて②、③、④を、学群適性検査にて①を評価します。適性検査と面接試験の結果に、提出書類の評価を加え、総合的に人物を評価し、選抜を行います。

さらに、多様な人材を求めるために「学校推薦（特待生区分）」、「社会人特別選抜入試」を実施し、優れた人材を見出します。

■情報学群

高知工科大学（学士課程全体）のアドミッション・ポリシーのもとに、情報学群では、情報学に対する興味と明確で適切な目的意識を持ち、次のような資質を持つ人を求めます。

- ①広い興味を持ち、主体的に真理を求める積極性と探究心
- ②問題を正しく理解し、論理的に考察して、自分の考えを的確に伝えられる能力
- ③ねばり強く打ち込み問題を解決する力
- ④高等学校で学習する幅広い分野の基礎学力
- ⑤数学や理科の論理的な理解
- ⑥協調性が高く、専門領域でリーダーシップをとり活躍できる能力

さらに、大学院へ進学することで、AI・コンピュータ科学、サイバーリアリティ、脳情報・心理情報学の各分野をけん引するような高度な技術者を目指すことを推奨します。

本学群の入学試験では一般選抜に加え、多様な人材を求めるために総合型選抜を実施します。

「一般選抜」では大学入学共通テストによって③、④を評価し、理科・数学の個別学力試験によって②、③、⑤を評価して選抜します。

「総合型選抜」では面接試験によって①、②、⑥を、学群適性検査によって②、③、⑤を、提出書類によって①、③、④、⑥を評価して選抜します。

さらに、「学校推薦（特待生区分）」、「社会人特別選抜入試」を実施し、優れた人材を見出します。

■経済・マネジメント学群

高知工科大学（学士課程全体）のアドミッション・ポリシーのもとに、経済・マネジメント学群では、社会や組織の課題とその解決に関心があり、次のような資質を持つ人を求めます。

- ①物事に主体的に取り組む積極性を持つ
- ②知的な能力を伸ばすことへの向上心がある
- ③経済学やマネジメント学を中心とした社会科学全般を学ぶために必要な基礎学力を身に付けている
- ④課題が提示されたとき、自身の知識と経験をもとに論理的に解決策を考えられる
- ⑤自分の考えを他者に対して明確に伝えられる
- ⑥学業あるいはスポーツにおける特定の分野に秀でた能力を持つ

上記の資質を持つ人を評価し選抜するために、本学群では以下の入学試験を実施します。

「一般選抜」では、大学入学共通テストと個別学力試験により、特に③を評価します。「学校推薦（一般区分）」では、提出書類により②と③を、面接試験により①と②と⑤を、面接試験中の思考力を問う質問により③と④と⑤を、特に評価します。「総合型選抜」では、提出書類により②と③と⑥を、面接試験により①と②と⑤を、学群適性検査または実技試験により⑥を、特に評価します。

さらに、多様な背景や経験を持つ人を求め、「学校推薦（特待生区分）」および「社会人特別選抜入試」を実施します。

■データ&イノベーション学群

高知工科大学（学士課程全体）のアドミッション・ポリシーのもとに、データ&イノベーション学群では、社会における課題解決や事業創造などに関心があり、これを次世代IT技術と多様な文理の学問を学ぶことで実現しようとする意欲があり、次のような資質を持つ人を求めます。

- ①困難に立ち向かう強い意志と積極性
- ②高等学校までに学ぶ広範な知恵と基礎学力
- ③論理的かつ柔軟な思考を持ち、文理を統合し得る資質
- ④協調性およびコミュニケーション能力を持ち、社会と対話する資質
- ⑤様々なデータからソリューションを創造し、社会にイノベーションをもたらし意欲

さらに、大学院へ進学することで、世界的に急速な広がりを見せるデジタルトランスフォーメーションをけん引するハイレベルなデータエンジニア、データサイエンティスト、ハイレベルマネージャーを目指すことを推奨します。

本学群の入学試験について、上記の5つの資質を持ちあわせた人材を選抜するために、以下の入試を実施します。

5つの資質を持ちあわせながら、特に②と③に秀でた人を選抜するために「一般選抜」を実施します。本試験では、主に大学入学共通テストと個別学力試験の結果をもとに評価し、選抜します。

5つの資質について総合的に優れた人を選抜するために「学校推薦（一般区分）」、「総合型選抜」を実施します。学校推薦（一般区分）では、面接試験にて①、④、⑤を、口頭試問にて②、③を評価します。面接試験と口頭試問の結果に、提出書類の評価を加え、総合的に選抜します。総合型選抜では、面接試験にて①、④、⑤を、学群適性検査にて②、③を特に評価します。適性検査と面接試験の結果に提出書類の評価を加え、総合的に人物を評価し、選抜を行います。

さらに、多様な人材を選抜するために「学校推薦（特待生区分）」、「社会人特別選抜入試」を実施します。

カリキュラム・ポリシー ～教育課程編成・実施の方針～

「人が育つ大学」として、学生が主体的・能動的に学び、成長していくことを重視した教育課程を編成します。

集中的受講による教育効果の向上と留学をはじめとする学外学修の促進を狙う「クォータ制」を基本としているほか、学生の自主性を尊重する「全科目選択制」、自学・自修を促す「専門科目の時間割上の集中配置」、「1年次からの専門科目履修」は、本学カリキュラム編成上の大きな特徴です。

また、「専攻・副専攻制」によって、専門分野に加え、関連する領域を理解する学際的な学びを促します。

○カリキュラムの構成

教育課程は、全学群に共通の「1 共通科目」と各学群が提供する「2 専門科目」で構成されています。

1 共通科目

「人文・社会科学等科目」と「自然科学等科目」は、社会人として必要な知識や基礎力を培うとともに、豊かな人間性と創造性の涵養を目指す科目群で、それぞれ「基礎科目」と「教養科目」に分類しています。

（1）人文・社会科学等科目

①基礎科目

「英語科目」とキャリア形成支援系の「人材育成科目」で構成する科目群です。英語は、読む、書く、聞く、話すことができる学習とともに、活きた英語に触れる機会を提供します。人材育成科目では、入学時の導入教育から、自己管理力・生涯学習力を高めるキャリア教育科目を体系的に配置します。

②教養科目

法律、歴史、文化・芸術分野のほか、英語以外の外国語科目等を提供します。

（2）自然科学等科目

①基礎科目

「数学科目」と「情報処理科目」を提供します。数学は、習熟度に応じた段階的な学習プログラムにより、専門科目の理解に必要な数量的スキルを身に付けます。情報処理科目は、情報通信技術の基礎を理解するとともに、当該技術の活用や活用する際のモラルなどの情報リテラシーを身に付けます。

②教養科目

専門科目を学ぶうえで必要となる物理学、化学、生物学等の科目を配置します。

2 専門科目

「専門基礎科目」、「専門発展科目」、「専攻領域科目」に大別し、各学群・専攻において学位授与と専攻修了に必要な取得単位数を設定するとともに履修モデルを提示することによって体系的な学修を支援します。また、工学系の4つの学群については、「工学系共通科目」を配置します。

(1) 工学系共通科目

工学系の4つの学群については、技術者に求められる素養を育む科目を配置します。

(2) 専門基礎科目

それぞれの分野の根幹となる基礎的な科目を配置します。

(3) 専門発展科目

各自の興味や関心に応じたより深い探求心に応えられる応用的な科目を配置します。

(4) 専攻領域科目

より高度で先端的な科目や学士課程の集大成となる卒業論文に向けた科目を配置します。

○教育の方法

- ・講義、実験、演習、フィールドワーク等を組み合わせた授業を提供します。
- ・英語科目、数学科目については、習熟度別の少人数クラスで授業を実施します。
- ・学生による授業評価を実施し、科目とカリキュラムの改善を図ります。

○学修成果の評価

- ・成績は、試験のほか、レポート、発表等を総合的に勘案して評価します。
- ・科目毎の具体的な評価方法については、シラバスで公開します。
- ・GPAに基づく成績評価を実施します。

■システム工学群

大学全体の共通科目に加え、工学の基幹をなす機械工学、電気電子工学、建築土木工学に関する知識を横断的に学修できる専門科目を提供します。

○カリキュラムの構成

(1) 工学系共通科目

工学全般の基礎理論・基礎概念を深く理解するとともに俯瞰的な視点を獲得する科目を配置しています。

(2) 専門基礎科目

技術者に広く求められる物理や数学科目のほか、各専攻に共通的な基礎科目、専攻での学修の基礎となる科目を配置しています。

(3) 専門発展科目

専攻分野の学びにおいて根幹をなす科目群を配置しています。

(4) 専攻領域科目

専攻領域をより深く学ぶための科目群と卒業研究によって構成されています。

○特色

専攻に属さない1年次に分野共通の基礎科目を配置し、機械系、電子系、建築土木系の基礎力を広く身に付けたうえで、各専攻の専門分野を学んでいきます。

○専攻

「知能機械工学」、「航空宇宙工学」、「エネルギー工学」、「電子・光工学」、「建築・都市デザイン」の5つの専攻に、それぞれ履修モデルと修了要件を設定しています。

▼知能機械工学専攻

- ・機械工学の基礎となる4つの力学と制御工学をしっかりと身に付け、その応用力を養います。
- ・コンピュータの応用やメカトロニクス教育を重視します。
- ・実験や設計科目を履修することによって、ものづくりを実践的に行うための能力を身に付けます。

▼航空宇宙工学専攻

- ・航空宇宙工学の基礎として学んだ物理や数学を専門の分野で応用する力を養います。
- ・極限環境下で使用する機器などにも対応できる高度な設計技術を修得します。
- ・航空機や宇宙機を設計する際に要求されるシステムを統合する能力を身に付けます。

▼エネルギー工学専攻

- ・エネルギー工学の基礎となる機械工学と電気・電子工学をしっかりと身に付け、その応用力を養います。
- ・エネルギー工学の3要素である資源・輸送・貯蓄・利用・変換を横断的に学びます。
- ・総合的な見地よりエネルギーシステムをマネジメントできる能力を身に付けます。

▼電子・光工学専攻

- ・電子・光工学の基礎となる電磁気学と電気・電子回路工学をしっかりと身に付け、その応用力を養います。
- ・情報通信、情報処理、集積回路および電子・光物性に関する教育を重視します。
- ・実験・実習・研究を通じて、ものづくりとプログラミング技術を修得するとともに、電子・光材料やデバイスの専門性を高めます。

▼建築・都市デザイン専攻

- ・建築学、土木工学、都市工学に関する基礎を身に付け、その応用力を養います。
- ・意匠や構造などの設計演習や建設マネジメントの学習を通じて、ソフト・ハード両面を実践的に学びます。
- ・建築土木、都市を含む包括的な環境としての社会基盤・国土を支えるシステムをデザインできる能力を身に付けます。

■理工学群

大学全体の共通科目に加え、物理学、化学、生命科学の3分野に関する幅広い知識を身に付けることを目的とした、専門科目を提供します。

○カリキュラムの構成

- (1) 工学系共通科目
工学全般の基礎理論・基礎概念を深く理解するとともに俯瞰的な視点を獲得する科目を配置しています。
- (2) 専門基礎科目
物理学、化学、生物学などの自然科学的素養を育む基礎科学系の科目を配置しています。
- (3) 専門発展科目
専門分野を学ぶうえで重要となる基幹的な科目を配置しています。
- (4) 専攻領域科目
先端的な学際領域の科目と卒業研究によって構成されています。

○特色

- ・自然科学全般を基礎から応用まで学ぶことができるカリキュラムを提供しています。
- ・直接観察やコンピュータを用いた多くの実験科目を提供しています。

○専攻

「応用物理」、「機能化学」、「生命情報」の3つの専攻に、それぞれ履修モデルと修了要件を設定しています。

▼応用物理専攻

- ・材料科学、シミュレーション物理などの応用物理分野に関する知識を修得します。
- ・物理・材料実験により、応用物理分野に関する基本的実験・測定・観察・シミュレーション技術とデータ解析法を修得します。
- ・卒業研究を通じて、応用物理分野の最先端研究に資する実践的な研究力を身に付けます。

▼機能化学専攻

- ・機能性物質の合成法や性質を理解するための基礎となる分析化学、無機化学、有機化学、物理化学およびそれらの複合的・発展的な化学分野に関する知識を体系的に学びます。
- ・化学実験・化学演習により、基本的な実験操作や物質の構造・機能を評価する手法を修得します。
- ・卒業研究を通じて、機能化学分野の最先端研究に資する実践的な研究力を身に付けます。

■情報学群

大学全体の共通科目に加え、情報学に関する基礎から最先端応用までを体系的に学修できる専門科目を提供します。

○カリキュラムの構成

- (1) 工学系共通科目
工学全般の基礎理論・基礎概念を深く理解するとともに俯瞰的な視点を獲得する科目を配置しています。
- (2) 専門基礎科目
専門分野の理解に必要な基礎力を育む科目群を配置しています。
- (3) 専門発展科目
3つの専門分野についての中心的な科目を配置しています。
- (4) 専攻領域科目
実験・プロジェクト研究により専門分野の深い理解と実践力を培います。

○特色

- ・情報学の各分野を幅広くカバーした科目群を用意しています。
- ・知識を応用する力を養うため、多彩な実験や演習を組み入れています。
- ・専門分野を深く知るために履修の順番をわかりやすく示したブレレキジット表を作成し、誰でも段階を追って学修を進められるようにしています。

○専攻

「AI・コンピュータ科学」、「サイバーリアリティ」、「脳情報・心理情報学」の3つの専攻に、それぞれ履修モデルと修了要件を設定しています。

▼AI・コンピュータ科学専攻

- ・ハードウェアとソフトウェアの両面への深い理解に基づき、コンピュータの新たな可能性を拓いていけるよう、AIとコンピュータ科学に関する教育を重視します。
- ・計算機アーキテクチャ、プログラミング言語、データベース、AIなどの知識を修得します。
- ・実験・研究により、機械学習応用やプログラミング技術、データ解析手法や情報通信ネットワーク技術の基礎を修得します。

▼サイバーリアリティ専攻

- ・VRやサイバーフィジカル空間を通じた、人々や情報システムとの間の安全で良好な関係を構築できるよう、VRメディアやサイバー空間構成技術に関する教育を重視します。
- ・サイバーメディア、人間と情報システムとの協調、情報通信、情報セキュリティなどの知識を修得します。
- ・実験・研究により、VR技術やプログラミング技術、データ解析手法や情報通信ネットワーク技術の基礎を修得します。

▼生命情報専攻

- ・多様な生命現象で機能する生命情報のしくみを理解し活用するために必要となる生物学基礎知識を幅広く体系的に学びます。
- ・生物実験や演習により、生命科学の発展的な研究開発の基礎となる基本的な実験技術を修得します。
- ・卒業研究を通じて、生命情報分野の最先端研究に資する実践的な研究力を身に付けます。

▼脳情報・心理情報学専攻

- ・人間の優れた知的・認知能力を理解し、人に優しい情報処理技術を開発できるよう、人間の知覚、心理、脳に関する教育を重視します。
- ・知覚情報処理、認知心理学、認知神経科学、記憶と学習、ニューロメカニクスなどの知識を修得します。
- ・実験・研究により、脳活動・人間応答の計測技術やプログラミング技術、データ解析手法や情報通信ネットワーク技術の基礎を修得します。

■経済・マネジメント学群

大学全体の共通科目に加え、経済学、マネジメント学を中心に据えつつ、社会における諸課題を解決するための社会生態分野や経済学の理解に必要な数理分野および工学の基礎を学際的に学ぶことができる専門科目を提供します。

○カリキュラムの構成

- (1) 専門基礎科目
経済学、マネジメント学に関する概論系の科目と数学、セミナーによって構成される科目群を配置しています。
- (2) 専門発展科目
専門領域の理解に必要な基礎的理論と実践を学ぶ科目群を配置しています。
- (3) 専攻領域科目
講義で専門知識を深めるとともに、セミナーやプロジェクト研究によって実践力を養います。

○特色

- ・2年次前期までにすべての系・専攻に共通する基礎力を身に付けたうえで、2年次後期より「経済学」「マネジメント学」のいずれかの学位取得を目指して各専門分野を学んでいきます。
- ・セミナー形式による少人数教育を実施しています。
- ・実践的な課題設定による討論形式の授業を取り入れています。
- ・国際社会で通用する力を身に付けるため、英語による専門科目を提供しています。

○専攻

2年次後期に、経済学の学位取得を目指す「経済系」とマネジメント学の学位取得を目指す「マネジメント系」の2つの系から1つを選択します。3年次には次の7つの専攻よりいずれか1つを選択し、各研究室に所属してプロジェクト研究に取り組みます。

- ・「経済系」の知識に立脚した「人間行動」、「経済政策」、「数理経済マネジメント」
 - ・「マネジメント系」の知識に立脚した「企業・起業マネジメント」「スポーツマネジメント」
 - ・「経済系」「マネジメント系」それぞれの知識に立脚した「国際経済マネジメント」「地域・行政システム」
- また、専攻に関連する領域を副専攻として選択することも可能です。各専攻にはそれぞれ履修モデルと修了要件を設定します。

【経済系】

▼人間行動専攻

- ・心理学・生理学・神経科学の融合系科目により、人間の心の特性およびその神経基盤について学びます。
- ・実験経済学など実験系の科目を重視します。

▼経済政策専攻

- ・産業組織論やファイナンス論などの経済系の学術分野を学び、市場メカニズムに対する理解を深めます。
- ・政治経済学や高知経済分析などの政策系の学術分野を学び、望ましい政策を見つけるとともにその実現可能性の問題を考えます。

▼数理経済マネジメント専攻

- ・金融論、計量経済学、プログラミング、データ分析の手法等を学びます。
- ・社会における様々な現象を、数理モデルを通じて理解する方法を学びます。

【経済系】【マネジメント系】共通

▼国際経済マネジメント専攻

- ・海外での研修、インターンシップ、留学などを通じて経済とマネジメントに資する国際経験を積むことを推奨します。
- ・英語で提供されている経済学とマネジメント学の専門科目の履修やグループ演習等により、専門的知識とスキル、および、グローバルコミュニケーション能力を養います。

■データ&イノベーション学群

大学全体の共通科目を配置するとともに、専門科目として、データ&イノベーション学に関する知識を身に付けることを目的に、AI・データサイエンスに関する基礎から応用、ネットワーク等の情報技術、経済学・心理学等の人と社会の理解に必要な基盤概念から経営・財務等のマネジメントに至る幅広い分野の基盤知識を得るための体系的な教育プログラムを提供します。

○カリキュラムの構成

- (1) 工学系共通科目
工学全般の基礎理論・基礎概念を深く理解するとともに俯瞰的な視点を獲得する科目を配置しています。
- (2) 専門基礎科目
専門分野の理解に必要な基礎力を育む科目群を配置しています。
- (3) 専門発展科目
専攻分野の学びにおいて根幹をなす科目群を配置しています。
- (4) 専攻領域科目
専攻領域をより深く学ぶための科目群と卒業研究によって構成されています。

○特色

- ・次世代技術リテラシーを有するだけでなく、工学基礎に関する十分な素養と社会実装に必要な基礎力を網羅的に学んでいきます。
- ・行政機関・民間企業のニーズに即して実際の現場・課題・データを用いた課題解決型学習を重視します。

○専攻

「AI・データサイエンス専攻」、「デジタルイノベーション専攻」の2つの専攻に、それぞれ履修モデルと修了要件を設定しています。

▼AI・データサイエンス専攻

- ・AI・データサイエンスの背景にある原理を理解したうえで活用できる力を養います。
- ・多変量解析や機械学習に関する学習に加えて、情報・工学技術の活用に必要な基礎教育を重視します。
- ・産官学連携の実践活動により、システム創成を通して価値創造・ソリューション創出する能力を高めます。

▼デジタルイノベーション専攻

- ・デジタルイノベーションを行ううえで必要な、デジタル技術と諸学問を統合してデザインする力を養います。
- ・次世代技術のエッセンスを理解する学習に加えて、経営的視点の修得に必要な基礎教育を重視します。
- ・産官学連携の実践活動により、社会を多視点で分析し価値創造・ソリューション創出する能力を高めます。

ディプロマ・ポリシー ～卒業認定・学位授与の方針～

高知工科大学は、教育の基本理念として「来るべき社会に活躍できる人材の育成」を掲げ、広い教養を備え深い専門知識と優れた人間性を持つ想像力豊かな人材を養成します。その実現のために、以下のような能力を身に付け、学則に定める卒業要件を満たした者に対して学位を授与します。

- 1 自発性・創造性
自ら問題を発見・提起し、目標を定め、そこに到達する技法を見出し解決することができる自発性と創造性
- 2 システム的視点
分野を超えた知識や視野を持ち、物事をトータルなシステムとして捉え最適化することができる能力
- 3 国際的思考とコミュニケーション能力
グローバル化が進む社会の中で、自らの考えを発信するために必要とされる国際的な視野とコミュニケーション能力
- 4 専門能力
社会の潜在的な要求を察知し、それを実現するための方策を見出すことができるなど、社会で十分に活躍できる高度な専門能力や技能と視野

▼システム工学群

システム工学群の設定した科目の学修を通じて、広い視野を持って社会に貢献できる人材を養成することを目的とし、以下の知識および能力を身に付けた者に対し、学士（工学）の学位を授与します。

- 1 システム構築の基盤となる機械、電子、建築土木の工学分野に共通する基礎知識
- 2 機械、電子、建築土木いずれかの分野における高度な専門知識
- 3 日々進歩する技術に柔軟に対応できる能力

▼理工学群

理工学群の設定した科目の学修を通じて、科学技術、自然環境の有機的なつながりを理解できる広い視野と倫理を持って活躍する人材を養成することを目的とし、以下の知識および能力を身に付けた者に対し、学士（理工学）の学位を授与します。

- 1 基礎的な理工学の知識を有機的に連結して活用できる能力
- 2 物理学、化学、生命科学のいずれかの分野における高度な専門知識
- 3 製品や生産プロセスの社会・自然環境に対する影響を予測し評価できる価値判断力

▼情報学群

情報学群の設定した科目の学修を通じて、広く次世代の情報技術を担える人材を養成することを目的とし、以下の知識および能力を身に付けた者に対し、学士（情報工学）の学位を授与します。

- 1 情報工学の基本的な知識および実践的な情報処理技術
- 2 AI・コンピュータ科学、サイバーリアリティ、脳情報・心理情報学のいずれかの分野に関する高度な専門知識および技術
- 3 学んだ知識を活用し、情報社会の課題を自ら発見し解決する能力

▼経済・マネジメント学群

経済・マネジメント学群の設定した科目の学修を通じて、経済学分野、経営学分野および関連分野の知識とそれらを活用する知恵を兼ね備え、企業や行政、その他様々な組織のマネジメントにおいて活躍できる人材や自ら起業する気概と能力を有する人材を養成することを目的とし、以下のとおり修得する知識や能力に応じて、学士（経済学）または学士（マネジメント学）の学位を授与します。

○学士（経済学）

社会経済の諸課題を認識し、経済政策や地域政策など経済学が担う社会経済のシステム設計を行う人材に求められる、次の知識および能力を身に付けた者に対し、学士（経済学）の学位を授与します。

- 1 経済学分野、経営学分野および関連分野の基礎的な専門知識
- 2 経済学の理論を理解し、実践的に応用できる能力

○学士（マネジメント学）

企業経営、起業経営、行政経営などの各分野において、市場の分析から経営企画・構築・運営が総合的にでき、マネジメントのプロフェッショナルに求められる、次の知識および能力を身に付けた者に対し、学士（マネジメント学）の学位を授与します。

- 1 経済学分野、経営学分野および関連分野の基礎的な専門知識
- 2 経営に必要な能力を持ち、実践的な経営企画ができる能力

▼データ&イノベーション学群

データ&イノベーション学群の設定した科目の学修を通じて、工学的視点と社会に対する俯瞰的な視野の両方を兼ね備えた人材を養成することを目的とし、以下の知識および能力を身に付けた者に対し、学士（データ&イノベーション学）の学位を授与します。

- 1 AI・データサイエンス、工学全般、ネットワーク等の情報技術および経済学・心理学等の人と社会の理解に必要な基盤概念に関する基礎知識
- 2 AI・データサイエンスおよびデジタルイノベーションの分野に関する高度な専門知識
- 3 幅広い知識を統合して、価値創造やソリューション創出を行う能力

総合型選抜の評価・選抜の観点

■システム工学群

ものづくりに不可欠な物理や数学に秀でた人を求めます。学群適性検査および提出書類により、物理または数学の能力を確認したうえで、面接により、本学群でエンジニアとしての資質を伸ばしていこうとする姿勢および専門の思考法と知識を修得していく意欲を評価します。

■理工学群

理科（物理・化学・生物）に秀でた人を求めます。学群適性検査により、各分野に秀でていることを評価します。さらに面接と提出書類により、自身の秀でた点を入学後も伸ばしていこうとする姿勢および専門の思考法と知識を修得していく意欲を評価します。

■情報学群

情報学に対する興味と明確で適切な目的意識を持ち、情報系技術者になる適性があることが求められます。具体的には、

- ・広い興味を持ち、主体的に真理を求める積極性と探究心
- ・問題を正しく理解し、論理的に考察して、自分の考えを的確に伝えられる能力
- ・ねばり強く打ち込み問題を解決する力

が望まれます。また、

- ・高い協調性や専門領域でリーダーシップをとり活躍できる能力
- ・専門領域で活躍できる高度な思考力

も評価します。これらの観点から、学群適性検査、面接、提出書類によって選抜します。

■経済・マネジメント学群

英語、数学、スポーツのいずれかに秀でた人を求めます。学群適性検査または実技試験等により、各分野に秀でていることを評価します。さらに面接により、自身の秀でた点を入学後も伸ばしていこうとする姿勢および経済学やマネジメント学の思考法と知識を修得しようとする意欲を評価します。

■データ&イノベーション学群

学群適性検査および提出書類により、理系科目の基礎学力または文系科目の基礎学力を確認したうえで、面接により、本学群で、文理を統合し、データエンジニア、データサイエンティストとして成長する資質を確認します。特に当該分野を修得し、社会で活躍したいという積極性と情熱を評価します。

●令和6年度 総合型選抜の募集人員、日程

1. 学群・募集人員

学群・募集区分		募集人員
システム工学群		40 (20)
理工学群		30 (15)
情報学群	A区分 (面接重視型)	40 (20)
	B区分 (適性検査重視型)	
経済・マネジメント学群	一般区分	30 (15)
	特定スポーツ区分	15 (5)
	スポーツ区分	若干名
データ&イノベーション学群		25 (15)

※ () 内は高知県内高等学校枠で内数

※高知県内高等学校枠…令和6年3月に高知県内の高等学校を卒業見込みの者、または高知県内の高等専門学校の第3学年を修了見込みの者

※合否は志望学群ごと、情報学群、経済・マネジメント学群は各区分ごとに判定します。

2. 試験日程

学群・募集区分		出願期間	選考	合格発表日	入学手続期間
システム工学群		令和5年9月4日(月) ～ 令和5年9月11日(月)	令和5年10月7日(土) ・8日(日)・9日(月) の3日間のうち連続した 2日間 ※	令和5年11月1日(水)	令和5年11月2日(木) ～ 令和5年11月10日(金)
理工学群					
情報学群	A区分				
	B区分				
経済・マネ ジメント 学群	一般区分				
	特定 スポーツ 区分				
	スポーツ 区分				
データ&イノベーション 学群					

※志願者数によっては1日のみで実施する場合があります。その場合は出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

(注)台風等で予定している試験がやむを得ず実施できない場合は、令和5年10月21日(土)、22日(日)の両日に延期します。

▶出願手続および出願書類等については19、20ページを参照してください。

▶すべての試験において、出願および入学手続の締切は期間最終日の17:00必着

●システム工学群総合型選抜の概要

1. 出願資格

次の(1)～(3)のいずれの条件も満たす者

- (1) 本学およびシステム工学群のアドミッション・ポリシーに賛同し、システム工学群で学びたいという強い意志を有する者
- (2) 令和6年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者、または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者
- (3) 合格した場合に入学を確約できる者

2. 選抜方法

学群適性検査、個別面接（20分程度）、提出書類による総合判定（大学入学共通テストは課しません。）

（志願者数によっては個別面接を集団面接に変更する場合があります。）

※学群適性検査・面接のいずれか一方でも受験しなかった場合は、選抜の対象にはなりません。

3. 試験教科・科目・配点等

教科等	科目等	配点	試験時間
学群適性検査	【物理】・【数学】のどちらか1つを選択して筆記で解答する。 【物理】（物理基礎全般、物理のいろいろな運動） 【数学】（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B） ※学群適性検査の選択科目は、出願時に選択いただきますが、試験時に問題を見て変更することができます。	300点	90分
書類審査	提出書類（調査書、志望理由書）を総合的に評価する。	100点	
面接	提出書類等の内容を含め、複数の面接担当者による個別面接（20分程度）を行う。ただし、志願者が多い場合、集団面接に変更する場合がある。	100点	

4. 試験日

令和5年10月7日（土）・8日（日）・9日（月）のうち連続した2日間

※志願者数によっては1日のみで実施する場合があります。その場合は出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

5. 試験時間割

試験当日の集合時刻や学群適性検査開始時刻については、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

6. 試験会場

高知工科大学 香美キャンパス：高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

▶ 30ページの「試験会場略図」を参照してください。

7. 合格発表・入学手続

22～24ページを参照してください。

8. 特待生制度について

17、18ページを参照してください。

●理工学群総合型選抜の概要

1. 出願資格

次の(1)～(3)のいずれの条件も満たす者

- (1) 本学および理工学群のアドミッション・ポリシーに賛同し、理工学群で学びたいという強い意志を有する者
- (2) 令和6年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者、または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者
- (3) 合格した場合に入学を確約できる者

2. 選抜方法

学群適性検査、個別面接（20分程度）、提出書類による総合判定（大学入学共通テストは課しません。）
（志願者数によっては個別面接を集団面接に変更する場合があります。）

※学群適性検査・面接のいずれか一方でも受験しなかった場合は、選抜の対象にはなりません。

3. 試験教科・科目・配点等

教科等	科目等	配点	試験時間
学群適性検査	【物理】・【化学】・【生物】のどれか1つを選択して筆記で解答する。 【物理】（物理基礎全般、物理のうち様々な運動） 【化学】（化学基礎全般、化学のうち物質の状態と平衡） 【生物】（生物基礎全般、生物のうち生命現象と物質） ※学群適性検査の選択科目は、出願時に選択いただきますが、試験時に問題を見て変更することができます。	300点	90分
書類審査	提出書類（調査書、志望理由書）を総合的に評価する。	100点	
面接	提出書類等の内容を含め、複数の面接担当者による個別面接（20分程度）を行う。ただし、志願者が多い場合、集団面接に変更する場合がある。	100点	

4. 試験日

令和5年10月7日（土）・8日（日）・9日（月）のうち連続した2日間

※志願者数によっては1日のみで実施する場合があります。その場合は出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

5. 試験時間割

試験当日の集合時刻や学群適性検査開始時刻については、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

6. 試験会場

高知工科大学 香美キャンパス：高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

▶ 30ページの「試験会場略図」を参照してください。

7. 合格発表・入学手続

22～24ページを参照してください。

8. 特待生制度について

17、18ページを参照してください。

●情報学群総合型選抜の概要

1. 出願資格

次の（１）～（４）のいずれの条件も満たす者

- （１） 本学および情報学群のアドミッション・ポリシーに賛同し、情報学群で学びたいという強い意志を有する者
- （２） 令和６年３月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者、または高等専門学校の第３学年を修了見込みの者
- （３） 合格した場合に入学を確約できる者
- （４） A区分においては、調査書における全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）が4.0以上の者

2. 選抜方法

A区分 （面接重視型）	学群適性検査、個別面接（20分程度）、提出書類による総合判定 （志願者数によっては個別面接を集団面接に変更する場合があります。）
B区分 （適性検査重視型）	学群適性検査、集団面接（15分程度）、提出書類による総合判定

※学群適性検査・面接のいずれか一方でも受験しなかった場合は、選抜の対象にはなりません。
（大学入学共通テストは課しません。）

3. 試験教科・科目・配点等

A区分（面接重視型）

教科等	科目等	配点	試験時間
学群適性検査	次の（１）～（３）のうちどれか１つを選択して筆記で解答する。 （１）数学①：微分法（数学IIの範囲） （２）数学②：場合の数 （３）プログラミング：考え方・手順の作成 （条件分岐・繰り返し・一次元配列）	50点	40分
個別面接	提出書類等の内容を含め、複数の面接担当者による個別面接（20分程度）を行う。ただし、志願者が多い場合、集団面接に変更する場合がある。	200点	20分
書類審査	提出書類（調査書、志望理由書）を総合的に評価する。	100点	

B区分（適性検査重視型）

教科等	科目等	配点	試験時間
学群適性検査	次の（１）～（３）のうちから２つを選択して筆記で解答する。 （１）数学①：微分・積分 （ただし数学IIIの範囲は「極限」と「微分法」の範囲に限る） （２）数学②：場合の数・集合・数列 （３）プログラミング：考え方・手順の作成・手順の理解	250点	120分
集団面接	提出書類等の内容を含め、複数の面接担当者による集団面接（15分程度）を行う。	50点	15分
書類審査	提出書類（調査書、志望理由書）を総合的に評価する。	50点	

4. 試験日

令和5年10月7日（土）・8日（日）・9日（月）のうち連続した2日間

※志願者数によっては1日のみで実施する場合があります。その場合は出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

5. 試験時間割

試験当日の集合時刻や学群適性検査開始時刻については、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

6. 試験会場

高知工科大学 香美キャンパス：高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

▶ 30ページの「試験会場略図」を参照してください。

7. 合格発表・入学手続

22～24ページを参照してください。

8. 特待生制度について

17、18ページを参照してください。

●経済・マネジメント学群総合型選抜の概要

【一般区分】

1. 出願資格

次の（１）～（３）のいずれの条件も満たす者

- （１）本学および経済・マネジメント学群のアドミッション・ポリシーに賛同し、経済・マネジメント学群で学びたいという強い意志を有する者
- （２）令和６年３月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者、または高等専門学校の第３学年を修了見込みの者
- （３）合格した場合に入学を確約できる者

2. 選抜方法

学群適性検査、個別面接（20分程度）、提出書類による総合判定（大学入学共通テストは課しません。）

（志願者数によっては個別面接を集団面接に変更する場合があります。）

※学群適性検査・面接のいずれか一方でも受験しなかった場合は、選抜の対象にはなりません。

3. 試験教科・科目・配点等

教科等	科目等	配点	試験時間
学群適性検査	【数学】・【英語】のどちらか１つを選択して筆記で解答する。 【数 学】（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ａ、数学Ｂ※） 【英 語】（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） ※学群適性検査の選択科目は、出願時に選択いただきますが、試験時に 問題を見て変更することができます。	300点	90分
面接	提出書類等の内容を含め、複数の面接担当者による個別面接（20分程 度）を行う。ただし、志願者が多い場合、集団面接に変更する場合があ る。	100点	20分
書類審査	提出書類（調査書、志望理由書）を総合的に評価する。	100点	

※数学Ｂの範囲：「数列」「ベクトル」

4. 試験日

令和５年10月7日（土）・8日（日）・9日（月）のうち連続した２日間

※志願者数によっては１日のみで実施する場合があります。その場合は出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

5. 試験時間割

試験当日の集合時刻や学群適性検査開始時刻については、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

6. 試験会場

高知工科大学 香美キャンパス：高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

▶ 30ページの「試験会場略図」を参照してください。

7. 合格発表・入学手続

22～24ページを参照してください。

8. 特待生制度について

17、18ページを参照してください。

【特定スポーツ区分】

1. 募集競技種目

卓球、バレーボール、硬式野球（男子）、ソフトテニス、剣道、ソフトボール（男子）

2. 出願資格

次の（１）～（５）のいずれの条件も満たす者

- （１）本学および経済・マネジメント学群のアドミッション・ポリシーに賛同し、経済・マネジメント学群で学びたいという強い意志を有する者。また、入学後は当該スポーツ団体等において活動し、勉学とスポーツに励む強い意志を併せ持つ者
- （２）令和６年３月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者、または高等専門学校第３学年を修了見込みの者
- （３）合格した場合に入学を確約できる者
- （４）調査書における全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）が４.０以上の者
- （５）卓球（男・女）、バレーボール（男・女）、硬式野球（男）、ソフトテニス（男・女）、剣道（男・女）、ソフトボール（男）の６種目の競技のいずれかにおいて、令和３年４月以降、都道府県大会ベスト８以上の成績を有する者

3. 選抜方法

個別面接（３０分程度、基礎学力を問う口頭試問を含む場合がある）、競技種目別実技試験、提出書類による総合判定（大学入学共通テストは課しません。）

（志願者数によっては個別面接を集団面接に変更する場合があります。）

※競技種目別実技試験・面接のいずれか一方でも受験しなかった場合は、選抜の対象にはなりません。

4. 試験教科・科目・配点等

教科等	科目等	配点	試験時間
面接	提出書類等の内容を含め、複数の面接担当者による個別面接（３０分程度、基礎学力を問う口頭試問を含む場合がある）を行う。ただし、志願者が多い場合、集団面接に変更する場合がある。	５０点	３０分
書類審査	提出書類（調査書、志望理由書）を総合的に評価する。	５０点	
実技試験	提出書類（スポーツ競技成績証明書）と競技種目別実技試験（基礎体力テストを含む場合がある）を総合的に評価する。 ※志願者が少数の場合は、競技動画の提出を求め、この競技動画を用いて、実技試験の評価を行う場合がある。 競技動画の提出を求める場合は、志願者数が確定した後に、該当スポーツ出願者にもみ連絡する。	１００点	

競技種目	実技試験内容
卓球	●基礎技術（フォアハンド、バックハンド、スマッシュ、ツッツキ） ●応用力（試合）
バレーボール	●基礎技術（パス、スパイク、レシーブ） ●応用能力（ゲーム形式）
硬式野球（男子）	●基礎能力（投・打・守・走） ●応用技術（ゲーム形式）
ソフトテニス	●基本技能 ●応用技能 ●実戦能力
剣道	●切り返し ●基本技 ●連続技 ●応用技 ●試合稽古
ソフトボール（男子）	●基礎能力（投・打・守・走） ●応用技術（ゲーム形式）

5. 試験日

令和5年10月7日（土）・8日（日）・9日（月）のうち連続した2日間

※志願者数によっては1日のみで実施する場合があります。その場合は出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

6. 試験時間割

試験当日の集合時刻や競技種目別実技試験の試験時間等詳細については、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

7. 試験会場

高知工科大学 香美キャンパス：高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

▶ 30ページの「試験会場略図」を参照してください。

8. 合格発表・入学手続

22～24ページを参照してください。

9. 特待生制度について

17、18ページを参照してください。

【スポーツ区分】

1. 出願資格

次の(1)～(5)のいずれの条件も満たす者

- (1) 本学および経済・マネジメント学群のアドミッション・ポリシーに賛同し、経済・マネジメント学群で学びたいという強い意志を有する者。また、入学後は当該スポーツ団体等において活動し、勉学とスポーツに励む強い意志を併せ持つ者
- (2) 令和6年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者、または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者
- (3) 合格した場合に入学を確約できる者
- (4) 調査書における全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）が4.0以上の者
- (5) 特定スポーツ区分にて指定された競技以外で、令和3年4月以降、全国大会ベスト8以上の成績を有する者

2. 選抜方法

個別面接（30分程度、基礎学力を問う口頭試問を含む場合がある）、提出書類による総合判定（大学入学共通テストは課しません。）

（志願者数によっては個別面接を集団面接に変更する場合があります。）

3. 試験教科・科目・配点等

教科等	科目等	配点	試験時間
面接	提出書類等の内容を含め、複数の面接担当者による個別面接（30分程度、基礎学力を問う口頭試問を含む場合がある）を行う。ただし、志願者が多い場合、集団面接に変更する場合がある。	50点	30分
書類審査	提出書類（調査書、志望理由書）を総合的に評価する。	50点	
活動実績	提出書類（スポーツ競技成績証明書）を評価する。	100点	

4. 試験日

令和5年10月7日（土）・8日（日）・9日（月）のうち連続した2日間

※志願者数によっては1日のみで実施する場合があります。その場合は出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

5. 試験時間割

試験当日の集合時刻については、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

6. 試験会場

高知工科大学 香美キャンパス：高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

▶ 30ページの「試験会場略図」を参照してください。

7. 合格発表・入学手続

22～24ページを参照してください。

8. 特待生制度について

17、18ページを参照してください。

●データ&イノベーション学群総合型選抜の概要

1. 出願資格

次の(1)～(3)のいずれの条件も満たす者

- (1) 本学およびデータ&イノベーション学群のアドミッション・ポリシーに賛同し、データ&イノベーション学群で学びたいという強い意志を有する者
- (2) 令和6年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者、または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者
- (3) 合格した場合に入学を確約できる者

2. 選抜方法

学群適性検査、個別面接（20分程度）、提出書類による総合判定（大学入学共通テストは課しません。）

（志願者数によっては個別面接を集団面接に変更する場合があります。）

※学群適性検査・面接のいずれか一方でも受験しなかった場合は、選抜の対象にはなりません。

3. 試験教科・科目・配点等

教科等	科目等	配点	試験時間
学群適性検査	【数学】・【英語】のどちらか1つを選択して筆記で解答する。 【数学】（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B） 【英語】（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ） ※学群適性検査の選択科目は、出願時に選択いただきますが、試験時に問題を見て変更することができます。	200点	90分
書類審査	提出書類（調査書、志望理由書）を総合的に評価する。	100点	
面接	提出書類等の内容を含め、複数の面接担当者による個別面接（20分程度）を行う。ただし、志願者が多い場合、集団面接に変更する場合がある。	100点	20分

4. 試験日

令和5年10月7日（土）・8日（日）・9日（月）のうち連続した2日間

※志願者数によっては1日のみで実施する場合があります。その場合は出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

5. 試験時間割

試験当日の集合時刻や学群適性検査開始時刻については、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

6. 試験会場

高知工科大学 香美キャンパス：高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

▶ 30ページの「試験会場略図」を参照してください。

7. 合格発表・入学手続

22～24ページを参照してください。

8. 特待生制度について

17、18ページを参照してください。

●特待生制度について

総合型選抜で合格し入学した後に、令和6年度大学入学共通テストの成績通知の結果が特待生認定基準を満たした者を、特待生として認定します。

特待生には下記2種類があり、ともに人数制限・所得制限はありません。

1. 特待内容

特待生区分	特待内容
特待生S	入学料・授業料免除 + 毎月10万円の奨学金を給付（最長5年間）※
特待生A	授業料相当額の奨学金を給付 = 毎月5万円、1年あたり60万円を給付（最長5年間）※

（注）特待生Sの入学料・授業料免除については、入学後に特待生として認定されるため、入学料・授業料に相当する奨学金を認定後に給付します。

※経済・マネジメント学群は、最長4年間

〔特待生継続要件〕特待生資格の継続は、本学の規程に基づき審査します。

2. 特待生認定基準

特待生認定希望者は、令和6年度大学入学共通テストを受験し成績通知請求を行う必要があります。

※大学入学共通テストの成績通知請求は、大学入学共通テスト出願時に手続きが必要となりますので、ご注意ください。

※成績通知請求の詳細は、独立行政法人大学入試センターが発行する令和6年度大学入学共通テスト受験案内の成績通知のページを参照してください。

〔特待生認定基準〕

特待生S

令和6年度大学入学共通テストの成績が、一般選抜前期日程A方式の大学入学共通テスト配点合計の80%以上であることを大学入学共通テストの成績通知により証明できること。

特待生A

令和6年度大学入学共通テストの成績が、一般選抜前期日程A方式の大学入学共通テスト配点合計の70%以上であることを大学入学共通テストの成績通知により証明できること。

〔大学入学共通テストの利用教科・科目〕

志望する学群が指定する令和6年度一般選抜前期日程A方式の大学入学共通テストの利用教科・科目については、一般選抜の学生募集要項でご確認ください。

3. 特待生制度申請方法等

（1）申請期間

令和6年4月15日（月）～令和6年5月15日（水） 17：00締切

（2）申請手続

- ①入学後に学生支援課（TEL：0887-53-1118）に、「特待生制度申請書」を請求してください。
- ②（1）に定められた申請期間内に、申請書と令和6年度大学入学共通テスト成績通知書（原本）を学生支援課に提出してください。
確認後、令和6年度大学入学共通テスト成績通知書（原本）は返却します。

（3）提出書類

- ①特待生制度申請書
- ②令和6年度大学入学共通テスト成績通知書（原本）

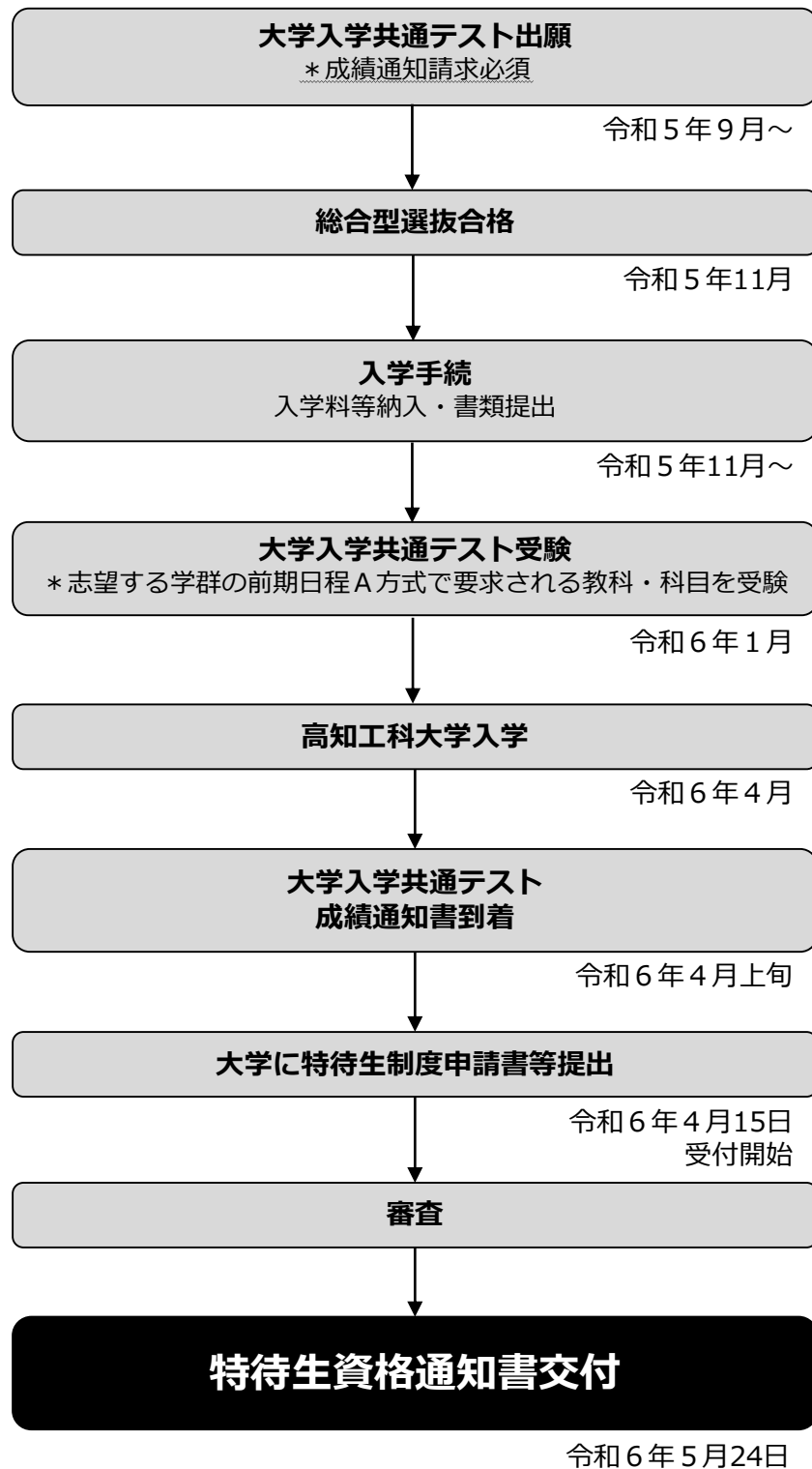
（4）認定通知日

令和6年5月24日（金）

（5）認定通知方法

特待生に認定された者には『特待生資格通知書』を交付します。

4. 特待生認定の流れ



●出願手続等

出願期間（締切日17：00必着）に、下記の出願書類を提出してください。

1. 出願書類

【システム工学群】、【理工学群】、【情報学群】、【データ&イノベーション学群】

入 学 志 願 票 ・ 写 真 票	インターネット出願サイトより入学検定料支払手続完了後にダウンロードできます。 A4サイズで両面印刷（カラー）してください。
調 査 書	<u>出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。</u> ※被災等の理由により調査書等の発行ができない場合は、早めに入試課（TEL：0887-57-2222）までお問い合わせください。
志 望 理 由 書 （本学所定の様式）	本学Webサイト「受験生向け情報サイト」→「入試情報」→「募集要項」より様式をダウンロードし、A4サイズで印刷後、 <u>志願者本人が自筆で記入したものを提出してください。</u>

【経済・マネジメント学群】

入 学 志 願 票 ・ 写 真 票	インターネット出願サイトより入学検定料支払手続完了後にダウンロードできます。 A4サイズで両面印刷（カラー）してください。
調 査 書	<u>出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。</u> ※被災等の理由により調査書等の発行ができない場合は、早めに入試課（TEL：0887-57-2222）までお問い合わせください。
志 望 理 由 書 （本学所定の様式）	本学Webサイト「受験生向け情報サイト」→「入試情報」→「募集要項」より様式をダウンロードし、A4サイズで印刷後、 <u>志願者本人が自筆で記入したものを提出してください。</u>
ス ポ ー ツ 競 技 成 績 証 明 書 （本学所定の様式） 競 技 成 績 証 明 資 料 貼 付 用 紙 （本学所定の様式） * 特定スポーツ区分 * スポーツ区分	・ 本学Webサイト「受験生向け情報サイト」→「入試情報」→「募集要項」より様式をダウンロードし、A4サイズで印刷後、<u>志願者本人が自筆で記入したものを提出してください。出願資格や競技成績の立証責任は志願者本人です。</u> ・ 記入に際しては、「スポーツ競技成績証明書」の2ページ目に記載された記入上の注意をよく読んで作成してください。 ・ 「スポーツ競技成績証明書」に記載された各競技成績については、必ず、それを証明する客観的資料を、<u>「競技成績証明資料貼付用紙」（本学所定の様式）に貼り付けて提出してください。</u> ※コピー可。新聞や雑誌の記事、大会等の開催事務局が発行する公式資料等、客観的かつ出所・日付が明らかなもの。<u>賞状、公式記録等、個人名・競技名・大会名・開催年月日・順位等が1枚で証明できるものが最も適しています。</u> ※団体競技の場合は、選手であることを証明する資料（メンバー表や大会プログラムに掲載されている登録選手一覧等）も、必ず「競技成績証明資料貼付用紙」により提出してください。選手であることを証明する資料がない場合は、入試課（TEL：0887-57-2222）までご連絡ください。また、先発・控えの別を記入し、控えの場合は、試合出場の有無がわかるような資料があれば同様に添付してください。 ・ 証明資料の準備に際しては、「競技成績証明資料貼付用紙」に記載された資料作成上の注意をよく読み、定められた形式で提出してください。 証明資料は、競技成績の補足資料とします。

2. 入学検定料

- (1) 入学検定料 30,000円
入学検定料の納入方法については、本学Webサイトの「受験生向け情報サイト」→「入試情報」→「募集要項」→「インターネット出願利用ガイド」よりご確認ください。
- (2) 出願受付後は一度納入された入学検定料は返還しません。
- (3) 入学検定料を納入したが、本学に出願しなかった（出願書類を郵送しなかった、または、出願が受理されなかった）場合、入学検定料を返還できることがあります。該当する場合は、令和5年10月27日（金）17:00までに入試課（TEL：0887-57-2222）へご連絡ください。

3. 出願書類の提出

- (1) **提出先 〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185 高知工科大学 入試課**
- (2) 出願書類は **書留速達**で発送してください。出願期間の**締切日17:00必着**です。
- (3) 出願用封筒は、市販の封筒（角形2号）を使用し、前面に所定の**封筒貼付用宛名シート**を貼り付けてください。（封筒貼付用宛名シートは、インターネット出願サイトより入学検定料支払手続き完了後にダウンロードできます。）

インターネット出願について

インターネット出願に関する詳細は、『インターネット出願利用ガイド』をご確認ください。

★掲載場所

本学Webサイト「受験生向け情報サイト」→「入試情報」→「募集要項」

URL:https://www.kochi-tech.ac.jp/entrance_info/admission/bachelors/requirement.html

4. 出願書類提出上の注意

- (1) 出願書類の不足、誤記入等の場合、受け付けることができませんので注意してください。
- (2) 一度提出された書類は返還しません。
- (3) 出願後の志望学群および募集区分の変更は認めません。
- (4) 出願時に登録している住所に変更が生じた場合は、直ちに入試課（TEL：0887-57-2222）へ申し出るとともに郵便局へ転居届を提出してください。合格通知、入学手続き書類等はすべて出願時に登録された住所に送付します。
- (5) 入学手続き完了後においても、提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学できないことがあります。

5. 出願にあたっての注意事項

- (1) 総合型選抜で合格した者は、本学の学校推薦型選抜および一般選抜を受験しても合格者とはなりません。
- (2) 総合型選抜に合格し、入学手続きを行った者は、本学および他の国公立大学・学部を受験しても、合格者とはなりません（入学辞退届を提出し、入学辞退を許可された場合を除く）。

6. 受験および修学上の配慮を必要とする場合の事前相談

障がい等を有する等、受験上の配慮および修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願に先立ち、出願開始日の2週間前までに入試課（TEL：0887-57-2222）に相談してください。

なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

●受験上の注意

1. 受験票について

- (1) 受験票は、インターネット出願サイトより入学検定料支払手続完了後にダウンロードできます。
試験当日までに印刷（カラー）し、大切に保管してください。また、**試験当日は必ず持参してください。**
- (2) 受験票を忘れたり紛失した場合は、試験当日に係員へ申し出て、指示を受けてください。

2. 試験会場への入場

- (1) 自動車・自転車・バイクでお越しの方は、大学指定の駐車場および駐輪場をご利用ください。ただし、駐車スペースには限りがありますのでご注意ください。
- (2) 試験会場では、係員の指示に従ってください。
- (3) 受験生以外の方は、試験場内（大学敷地内）への立ち入りはご遠慮ください。保護者等による受験生の送迎は可能です。

3. 試験室への入退室

- (1) 指定された入室時間までに試験室へ入室してください。
- (2) 試験室へ入室したら、指定された席に着席し、本学受験票を机上の受験番号シールの手前に置いてください。
- (3) 定められた試験開始時刻に30分以上遅刻した者は受験できません。また、「面接」については、集合時刻に遅刻した者は受験できません。
なお、自然災害等不可抗力による遅刻の場合は、特別措置を講じることがありますので、直ちに係員へ申し出てください。
- (4) 試験中、試験監督者に用件のある場合は、黙って挙手してください。
- (5) 試験開始後、試験時間が終了するまで退室できません。
- (6) 「面接」では、各自の試験が終了すれば退室となります。

4. 答案記入上の注意等

- (1) 筆記用具（HBまたはBの鉛筆・シャープペンシル・シャープペンシルの替え芯）、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り（小型で手動のもの・ナイフ類は不可）、時計（時計機能だけのものとし、辞書・電卓・端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものを除く）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋または箱から中身を取り出したもの）、受験票以外のものは机の上に置かないでください。
- (2) 「定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）」「コンパス」「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具や「携帯電話」「スマートフォン」「ウェアラブル端末」「タブレット端末」「電子辞書」「ICレコーダー」「イヤホン」「音楽プレーヤー」等の電子機器類は使用できません。
- (3) スマートフォン等（ウェアラブル端末を含む）は、試験室に入る前に電源を切っておいてください。また、これらは、身につけることも時計として使用することもできません。これらを身につけていたり、手に持っていることが不正行為となることがあります。時計が必要な者は腕時計を持参してください。試験室には時計はありません。
- (4) 時計のアラーム機能は必ず解除してください。
- (5) 必要のないものは、カバン等に入れて試験監督者の指示する場所に置いてください。

5. 不正行為

次のことをすると不正行為となることがあります。不正行為があると認められた受験生に対しては、直ちに受験を停止させ退出を命じます。また、既に受験したすべての教科・科目等の成績も無効となります。

- (1) カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- (2) 使用を禁じられた用具を使用して問題を解くこと。
- (3) 配布された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- (4) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (5) 試験開始の合図がある前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (6) 受験票・写真票に本人以外の写真を使用すること。
- (7) 他の受験生に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (8) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。また、それらの電子機器類を身につけていたり、手に持っていること。
- (9) 試験時間中に、携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- (10) 試験終了の合図に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (11) 試験に関することについて、自身や他の受験生が有利になるような虚偽の申出をすること。
- (12) 試験室において他の受験生の迷惑になる行為をすること。
- (13) 試験室において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (14) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

6. その他の注意

- (1) 各学群または各募集区分が指定する試験の教科・科目等を一つでも受験しなかった場合は、選抜の対象となりません。
- (2) 試験会場の場所、交通所要時間等を試験日前日までに確認しておいてください。ただし、試験当日まで建物内に立ち入ることはできません。試験日前日の午後からキャンパス内に試験室等の配置図を掲示します。
- (3) 宿泊が必要な受験者は、各自で手配してください。なお、本学売店「アクセス」（TEL：0887-57-0229）において、宿泊施設の情報を提供しています。
- (4) 受験当日の昼食は受験者各自が準備してください。
- (5) 面接の待ち時間が長くなる場合があります。書籍等、適宜ご準備ください。

●合格発表

合格発表日時等

令和5年11月1日（水）午前10時

下記へ合格者の受験番号を掲示します。

本学Webサイト「受験生向け情報サイト」→「入試情報」→「合格発表」

アドレス「<https://www.kochi-tech.ac.jp/>」

注1) 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

注2) 合格者の受験番号について、学内掲示は行っておりません。



合格者には、合格通知書および入学手続書類を本人宛（出願時に登録している住所）に書留速達で郵送します。

●入学手続

1. 入学手続について

- (1) 入学手続は以下のとおりですが、詳細については合格者に別途お知らせします。
- (2) 下記の入学手続期間内に入学料および学生教育研究災害傷害保険料等を納入し、入学手続書類を提出してください。
- (3) 入学手続期間内に手続を行わなかった場合、入学を辞退したものとみなします。
- (4) ただし総合型選抜合格者は、入学または入学辞退のいずれの手続も行わないままとすることのないよう留意してください。所定の入学辞退手続により入学辞退を許可された場合を除き、本学および他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜および一般選抜を受験しても合格者とはなりません。
- (5) 総合型選抜の合格者は、その趣旨から、原則として入学辞退を認めません。ただし、特別な事情により、合格したものの入学手続をしない場合は令和5年11月10日（金）17：00までに、あるいは入学手続を完了したが入学を辞退する場合は、令和6年2月19日（月）17:00までに、「入学辞退願」を入試課まで提出してください。
特別な事情があるとして本学の学長が許可した場合に限り、辞退することができます。
なお、辞退をする場合、事前に入試課（TEL:0887-57-2222）に連絡の上、該当する期日までに、「入学辞退願」を提出してください。
- (6) 定められた期限までに入学辞退願を提出した者については、入学料を除いた納入金を返還します。
- (7) 入学手続完了後であっても、入学資格に該当しない事由が生じた場合には入学できないことがあります。

2. 入学手続期間

令和5年11月2日（木）～令和5年11月10日（金）

- (1) 入学手続書類の提出は締切日の17：00必着です。入学料および学生教育研究災害傷害保険料等の納入は、金融機関の取扱時間内に行ってください。入学手続期間後に本学が受領したものは認めませんので、郵便・金融機関事情等、十分考慮し手続を行ってください。
- (2) 入学手続書類は書留速達での郵送を原則とします。入学料および学生教育研究災害傷害保険料等の納入は、金融機関の窓口で、所定の振込用紙を使用し、電信扱いで振り込んでください。
- (3) 事情により手続書類を持参される場合は事前に入試課（TEL：0887-57-2222）までご連絡のうえ、月曜日～金曜日（祝日除く）の8：30～17：00に持参してください。

3. 入学料の納入

入学料	高知県内在住者 ※1	150,000円
	高知県外在住者 ※2	300,000円

※1 入学を許可された学生または当該学生の配偶者もしくは一親等の親族で、入学手続完了日の6ヵ月前から引き続き高知県内に住所を有することが住民票または住民票と戸籍謄本等で確認できる者（入学手続時に証明書類を提出していただきます。）

※2 高知県内在住者以外の者

- (1) 入学手続期間内に入学料を納入してください。
- (2) 合格者へは、入学料を納入する振込依頼書を合格通知書とともに送付します。納入方法はその際に通知します。
- (3) 一度納入された入学料は返還しません。
- (4) 入学料について改訂が行われた場合には、改訂時から新入学料が適用されます。

4. 保険料の納入

学生教育研究災害傷害保険料	3,300円	計 4,660円	(令和6年度適用)
学研災付帯賠償責任保険料	1,360円		

- (1) 入学手続期間内に学生教育研究災害傷害保険料および学研災付帯賠償責任保険料を納入してください。
- (2) 教育研究活動中の不慮の事故（課外活動を含む）および対人・対物事故（インターンシップ、教育実習を含む）に対する補償のため、全ての入学生に加入していただきます。保険料は入学時のみの納入で、保険対象期間は4年間です。
- (3) 保険料の振込みは、入学料の振込みと同時に行っていただきます。
- (4) 詳細については、合格通知書とともに送付します。

5. 入学手続書類の提出

- (1) 入学手続期間内に入学手続書類を提出してください。
- (2) 合格者には所定の入学手続書類を合格通知書とともに送付しますが、合格発表後、入学手続の締切までに時間がないので、事前に以下のものを用意しておいてください。

卒業（修了）証明書	・卒業（修了）見込みで受験した者のみ必要です。 ・総合型選抜合格者は、卒業（修了）証明書の提出に限り、所定の入学手続期間ではなく、令和6年3月19日（火）までを提出期限とします。ただしこの場合においても、他の入学手続書類は、所定の入学手続期間内に提出してください。
写真1枚 （学生証用）	・提出前3ヵ月以内に撮影したもの（カラー・白黒どちらでも可）。 ・サイズは縦4cm × 横3cm。 ・正面、上半身、無帽、私服着用(学生証として4年間使用するため)で背景のないもの。 ・裏に受験番号、合格学群、氏名を記載したもの。
「高知県内在住者」資格を有することを証明する書類 ※「高知県内在住者」の入学料（150,000円）を納入する者のみ	【「高知県内在住者」資格】 下記①～③のいずれかの者が、入学手続完了日の6ヵ月前から引き続き高知県内に住所を有することを、住民票で確認できること。住民票のみで確認できない場合は、住民票と戸籍謄本等で確認できること。 ①合格者本人 ②合格者の配偶者 ③合格者の一親等の親族 【提出書類】 (1) 合格者本人が高知県内在住者である場合 合格者本人の住民票 (2) 合格者の配偶者または一親等の親族が高知県内在住者である場合 以下2点の書類 (a) 高知県内在住者である合格者の配偶者または一親等の親族の住民票 (b) 戸籍謄本等、高知県内在住者である合格者の配偶者または一親等の親族と合格者本人の関係が確認できるもの ※戸籍が途中で改製（編成）されている場合は、それ以前の戸籍が必要となる場合があります。
在留カードの写し（両面）	・日本国籍を有しない者のみ必要です。

6. その他納入金

校友会費 50,000円 （納入時期：原則入学手続時）	入学生には、入学手続とともに、高知工科大学校友会へのご入会をお願いしております。校友会は、「学生生活」「課外活動」「入学・卒業」「会員交流」「地域交流」「大学連携」の活動目標を掲げ、入学後から卒業後まで一貫して「工科大生」として会員の皆様に様々な支援を行っている組織です。 校友会の活動については、「高知工科大学校友会」のホームページをご覧ください。詳細については、合格通知書とともに送付します。
--	--

●入学前教育

総合型選抜の合格者を対象に、入学前教育を実施しています。詳細については、あらためて合格者にお知らせいたします。

●授業料

	納 入 期 限	金 額
1 期分授業料	令和 6 年 4 月 25 日まで	267,900円
2 期分授業料	令和 6 年 10 月 25 日まで	267,900円
年 額		535,800円

- (1) 1 期分授業料の納入については、入学後に振込依頼書を別途送付いたします。
- (2) 2 期分授業料より、入学生が指定する金融機関の預金口座から口座振替となります。
詳細については、後日お知らせいたします。
- (3) 入学後、特待生 S として認定された場合、授業料に相当する奨学金を認定後に給付します。
- (4) 授業料について改訂が行われた場合には、改訂時から新授業料が適用されます。

●学生生活について

1. 奨学金制度

■日本学生支援機構（JASSO）貸与奨学金

独立行政法人日本学生支援機構は、経済的理由で就学が困難な優れた学生に対し、学資の貸与を行っています。貸与奨学金は卒業後に返還が必要となります。

第一種奨学金（無利子）

詳細は、日本学生支援機構のホームページ（以下の URL）をご参照ください。

・貸与月額

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_1shu/kingaku/2018ikou.html

第二種奨学金（有利子）

詳細は、日本学生支援機構のホームページ（以下の URL）をご参照ください。

・貸与月額

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_2shu/kingaku.html

申請

日本学生支援機構の奨学金の申請には、高校 3 年生で申請する「高校予約採用」と、進学後に申請する「在学採用」があります。

■日本学生支援機構（JASSO）給付奨学金

独立行政法人日本学生支援機構は、令和 2 年 4 月から新給付奨学金の募集を開始しました。

給付奨学金月額

給付奨学金の給付月額は、支援区分により異なります。支援区分は、奨学金申請時に提出されたマイナンバーの税務情報に基づいて決定されます。毎年 10 月に支援区分の見直しが行われるため、父母の収入の増減に応じて給付奨学金の月額が変更される場合があります。

詳細は、日本学生支援機構のホームページ（以下の URL）をご参照ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/kingaku.html>

高等教育の修学支援制度の利用について

令和 2 年 4 月から、国は「大学等における修学支援のための法律」（令和元年 5 月 17 日法律第 8 号）に基づき、支援対象校に進学するために支援が必要な学生に対し、入学料および授業料の減免を実施していますが、この制度にかかる入学料および授業料減免を希望する場合は、日本学生支援機構の給付奨学金に採用されることが条件となります。

申請

日本学生支援機構の貸与奨学金と同様に、高校 3 年生で申請する「高校予約採用」と、進学後に申請する「在学採用」があります。

■ 民間育英団体および地方公共団体が実施する奨学金

地方公共団体や民間育英団体が実施している奨学金制度（給付、貸与、返還支援制度等）について、随時学生に向けて本学Webサイト等でご案内しております。

2. 授業料免除制度

■ 高等教育の修学支援制度（高等教育無償化）に係る入学料および授業料の減免

令和2年4月から、国は「大学等における修学支援のための法律」（令和元年5月17日法律第8号）に基づき、支援対象校に進学するために支援が必要な学生に対し、入学料および授業料の減免を実施しています。

減免の対象者

この制度の対象要件は、日本学生支援機構の給付奨学金の対象要件と同じです。本学は、日本学生支援機構の給付奨学金に申請し、採用となった学生に対し、機構が認定した給付奨学金の支援区分に応じて、入学料および授業料を減免いたします。

詳細は、文部科学省のホームページ（以下のURL）「学びたい気持ちを応援します 高等教育の修学支援制度」をご参照ください。

<https://www.mext.go.jp/kyufu/>

■ 高知工科大学授業料免除制度

本学は、「高知工科大学授業料の免除に関する規程」に基づき、経済的理由により授業料の納付が著しく困難であり、かつ学業成績優秀と認められる学生に対し、申請により当年度1年間の授業料の全額または半額を免除します。

申請時期および要件

定期申請と定期外申請の2通りがあります。

1) 定期申請

毎年6月頃募集を開始します。

2) 定期外申請

特別な事由がある場合は、定期申請の提出期限を過ぎても申請することができます。

- ・ 父母又は父母がいない場合は主たる家計の支持者が死亡した場合
- ・ 学生又は父母若しくは父母がいない場合は主たる家計の支持者が火事や風水災等の災害を受けた場合
- ・ その他、学長が特別な事情と認めた場合

審査基準

学業基準と家計基準により審査します。

※詳細については学生支援課（TEL：0887-53-1118）までお問い合わせください。

3. 主な学びのキャンパスについて

令和6年度入学生の本学入学後の主な学びのキャンパスは以下のとおり予定しています。試験会場と異なる場合がありますので、ご注意ください。

各キャンパスの詳細は本学Webサイト(<https://www.kochi-tech.ac.jp/about/campus/introduce/>)をご確認ください。

学群	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
システム工学群 理工学群 情報学群	香美	香美	香美	香美
経済・マネジメント学群	香美	永国寺	永国寺	永国寺
データ&イノベーション学群	香美	香美	永国寺（予定）	永国寺

4. 学生寮

本学にはキャンパス内に学生寮があり、希望者は入寮することができます。なお、希望者が定員を超える場合は、選考のうえ入寮者を決定することになります。

※令和5年度の寮則に基づくものであり、今後変更されることもあります。

【ドミトリー】（男子専用）

入寮定員	・236人
入寮期間	・4月初旬から翌年3月下旬まで（ただし、8月中旬から下旬および年末年始は閉寮します。） 詳細については、入寮者に別途お知らせします。
入寮費用	・入寮費 30,000円（入寮時のみ） ・管理費 年額30,000円 ・寮費 年額330,000円（光熱水費込） ・食費 年額200,000円（朝食・夕食）
構 造	・鉄骨鉄筋コンクリート造、15階建、2棟、寮室約13.5㎡（個室）
設 備	・各寮室に次の設備があります。 机、椅子、電気スタンド、ベッド（寝具付き）、クローゼット、バス・トイレ、冷蔵庫、エアコン、 情報コンセント（学内LAN接続）、Wi-Fi（無料） ・共有部分：ランドリー、無料レンタサイクル（エコサイクル）、電子レンジ、掃除機、アイロン

※1年生の1年間のみ入寮可能です。

【香美寮】（女子専用）

入寮定員	・96人
入寮期間	・4月初旬から翌年3月下旬まで（ただし、8月中旬から下旬、年末年始は閉寮します。） 詳細については、入寮者に別途お知らせします。
入寮費用	・入寮費【4人シェアハウス】20,000円 / 【8人シェアハウス】19,000円（入寮時のみ） ・管理費【4人シェアハウス】年額30,000円 / 【8人シェアハウス】年額30,000円 ・寮費【4人シェアハウス】年額220,000円 / 【8人シェアハウス】年額209,000円（光熱水費込）
構 造	・3階建 4棟（4人シェアルーム2棟・8人シェアルーム2棟）各棟24個室 ・寮室約11.8㎡（個室）と共有部分（ダイニングキッチン・共同バス・共同トイレ）
設 備	・各寮室に次の設備があります。 机、椅子、ベッド（寝具付き）、クローゼット、エアコン、Wi-Fi（無料） ・共有部分：ダイニングセット、IHコンロ、テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、バス・トイレ、ランドリー、掃除機、 無料レンタサイクル（エコサイクル）

※経済・マネジメント学群、データ&イノベーション学群1年生は1年間、その他3学群1年生は標準修了年限まで入寮可能です。

※令和6年度のデータ&イノベーション学群1年生については、2年間入寮可能です。

詳細については、合格通知書とともに送付します。お問い合わせは、学生支援課（TEL：0887-53-1118）までお願いします。

5. アパート・マンション等の紹介

アパート・マンション等の斡旋はしていませんが、本学売店「アクセス」（TEL：0887-57-0229）で近隣物件を取り扱う不動産業者等の情報を提供しています。

●入試個人成績の開示

本学の令和6年度総合型選抜受験者を対象に、郵送により、入試個人成績の開示を行います。
以下の手続きにより申請してください。

1. 開示申請受付期間

令和5年11月1日（水）～ 令和5年11月22日（水） ※必着

2. 申請可能な方

受験者本人に限ります。

3. 開示内容

総合点を開示します。

4. 申請方法

以下の書類等を郵便（簡易書留）により、上記開示申請受付期間内に必着となるよう下記の宛先まで送付してください。

封筒の表には「入試成績開示申請書在中」と朱書きしてください。

(1) 入試成績開示申請書（自筆で記入したもの）

※本学Webサイト「受験生向け情報サイト」→「入試情報」→「入試関連情報」の「入試個人成績の開示」のページからダウンロードできます。

Webから入手できない方は下記までお問い合わせください。

(2) 成績開示を申請する本学入学試験の受験票（原本）

※受験票は回答書に同封し返送します。

(3) 本人確認書類

受験者本人であることが確認できる身分証明書の写し（生徒証、健康保険の被保険者証、パスポート、運転免許証、住民票等）

※写真入り証明書の場合は1種類で結構ですが、写真が入っていない場合は2種類必要です。

(4) 返信用封筒（入試成績回答書の返送に使用するので、定形封筒長形3号（120mm×235mm）に受験者本人の住所、氏名を記入し、簡易書留郵便料金分の切手404円分を貼ったもの）

5. 開示の時期

入試成績回答書を申請受付締切後、返信用封筒を使用し簡易書留郵便にて発送します。

申請受付締切後1週間経っても回答書が届かない場合は、下記までお問い合わせください。

6. 申請先および問い合わせ先

〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185 高知工科大学 入試課

TEL : 0887-57-2222

●個人情報保護について

(1) 出願者について、入学までに本学が取得した個人情報は、以下の目的に利用いたします。

- ①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、合格発表、入学手続業務
- ②入学に際してのご案内、学生寮申込者の選考
- ③個人情報を含まない形での統計のための集計・分析

なお、出願書類に不備等があった場合に、その訂正・補完を迅速に行っていただくため、本学に出願がなされていること、および出願書類に不備等があることを、ご家族や出身高校に通知する場合があります。

また、上記①～③の目的での利用に際し、業務委託を行うことがあり、委託業者に対して委託の範囲内で、記載された個人情報の全部または一部を提供することがありますが、この場合においても、上記以外の目的で、記載された個人情報を利用することはありません。

(2) 国公立大学の分離分割方式による合格および追加合格決定業務を円滑に行うため、大学入学共通テストの受験番号（未受験者はカナ氏名・高等学校等コード・性別・生年月日）を、本学の受験番号、入試区分、受験学群、合否および入学手続等に関する情報と併せて、独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学に通知いたします。

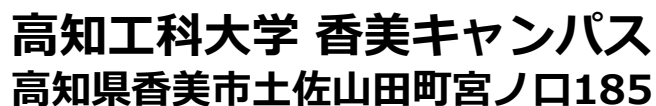
(3) 入学者に関しては、上記に加え、以下に基づき個人情報を取り扱います。なお、本学校友会との間で、個人情報の共同利用を行います。

「学生の個人情報の取扱いについて」

<https://www.kochi-tech.ac.jp/disclosure/univ/post-10.html>



【高知工科大学 香美キャンパス】



- ▶ JR土讃線「土佐山田」駅下車、バスに乗り換えて
 - ・とさでん交通バス「山田駅～龍河洞」線で約10分「工科大入口」もしくは「高知工科大学」下車
 - ・JR四国バス「美良布」行で約10分「工科大西口」下車
(JR「高知」駅から「土佐山田」駅までは、特急で約12分、普通で約30分)
- ▶ 高知自動車道南国ICから車で約20分
- ▶ 高知龍馬空港から車で約25分